



FLEX Historical サービス APIデータ取得マニュアル

Ver. 3.1.5

J P X 総研
2024年2月

1. はじめに
2. Powershellを用いたデータ取得例
3. cURLを用いたデータ取得方法例

- 本書は"FLEX Historical サービス"について記述したものであり、ご利用にあたり必要な場合を除き、複製及び第三者への開示は禁止いたします。
- 本書の内容は予告なく改定する場合があります。

1. はじめに



■ 1-1. 本書について

- 本書は、**FLEX Historical サービスで提供するPCAPファイルをダウンロードいただくための操作マニュアル**です。
- データ取得に必要な情報に関しましては契約後にお渡しします「環境通知書」をご参照ください。
- それ以降の章では、以下のソフトウェアを用いたダウンロード例をご案内いたします。これ以外での方法を制約するものではありません。

使用するソフトウェア	本書の記載箇所
PowerShell	3. PowerShellを用いたデータ取得方法
cURL	4. cURLを用いたデータ取得方法

- 本書で使用している各ソフトウェアのバージョンと、ご利用のお客様環境が異なる場合は適宜読み替えてご覧ください。
- なお、API仕様については下記URLからご確認ください。
- <http://apidoc-flex.jpjx-dataservice.com/>

2. Powershellを用いたデータ取得例

2. Powershellを用いたデータ取得方法

■ 操作マニュアルの流れ

➤ 本節ではPowershellを用いた具体的な操作手順を記載します。マニュアルの大まかな流れは以下のとおりです。

節	操作手順	操作目的
2-1.	認証／トークン取得	環境通知書に記載されたユーザID/パスワードを用いてAPI接続に利用する認証トークンを取得します。
2-2.	トークン再取得	トークンが有効期限切れとなった際にトークンを再取得します。
2-3.	ダウンロード対象ファイルリストの表示 (FLEXデータ)	FLEXデータについてダウンロード対象ファイルのリストを確認します。
2-4.	ダウンロードURLの発行 (FLEXデータ)	FLEXデータについて各種データをバケットからダウンロードします。
2-5.	ダウンロード対象ファイルリストの表示 (FLEX仕様書)	FLEX仕様書についてダウンロード対象ファイルのリストを確認します。
2-6.	ダウンロードURLの発行 (FLEX仕様書)	FLEX仕様書について各種データをバケットからダウンロードします。

2-1. 認証／トークン取得

● (1) Windows PowerShell (HTTPリクエスト)

実行画面

投入コマンド >

```
> Invoke-WebRequest https://<サービスドメイン>/user_admin/auth/login `
> -Headers @{"Content-type"="application/json"} `
> -Method Post `
> -Body '{"userName":"<ユーザID>","password":"<パスワード>"}' `
> | Select-Object -ExpandProperty Content
```

応答結果 >

```
{"idToken":
"eyJraWQiOiJYNFVidWNRR2NpUEQ2K21NQ3BqaGhuSDdaXC9mbkhpZHN
...
DRq7okmoco0MdMwifuvBp235G886-9-07IBA3imHH7zzSACVBsA",
"refreshToken":
"eyJjdHkiOiJlV1QlLjIjbmMiOiJBMjU2R0NNliwiYWxnIjoiaUINBLU9BRV
...
GGumXKwt0QIHpyDavmih5wg_sp3UA.0U69OlaVSTCfWvRjxJj-nA",
"expiresIn" 3600}
```

操作内容

[投入コマンド]

```
> Invoke-WebRequest https://<サービスドメイン>
  ※1>/user_admin/auth/login
<パラメータ>
-Headers @{"Content-type"="application/json"}
-Method Post
-Body '{
  "userName":"<ユーザID※1>"
  ,"password":"<パスワード※1>"}'
```

<パイプライン：応答結果の項目から[Content]を全表示>
| Select-Object -ExpandProperty Content

※1: J P X 総研よりお渡します「環境通知書」の設定値をご確認ください。

[応答結果]

- ■ idToken : API発行時に使用するトークン
- ■ refreshToken : トークン再取得APIで使用するリフレッシュトークン
- ■ expiresIn : トークンの有効期間 (3600秒)

[推奨事項：変数化]

取得した [idToken],[refreshToken] の文字列を変数に設定することで
後続のAPI発行時に利便性が向上

```
$Token = "
eyJraWQiOiJYNFVidWNRR2NpUEQ2K21NQ3BqaGhuSDdaXC9
...
7 ok moco0MdMwifuvBp235G88-6-07IBA3imHH7zzACVBsA"
```

2-2. トークン再取得

- (1) Windows PowerShell (HTTPリクエスト)

実行画面

投入コマンド >

```
> Invoke-WebRequest https://<サービスドメイン>/user_admin/auth/refresh `
> -Headers @{"Content-type"="application/json"} `
> -Method Post `
> -Body '{"refreshToken":"<リフレッシュトークン>'}' `
> | Select-Object -ExpandProperty Content
```

応答結果 >

```
{"idToken":
"eyJraWQiOiJYNFVidWNRR2NpUEQ2K21NQ3BqaGhuSDdaXC9mbkhpZHNHcXJ2Y1Vx
...
RFXJS6zbF6eDdgesc69UeyvJpdsDT8HTL7XNzwIRivMWI7xVMkG82r2s7WMEPEqw",
"expiresIn": 3600}
```

操作内容

[投入コマンド]

- Invoke-WebRequest https://<サービスドメイン>/user_admin/auth/refresh
<パラメータ>
 - Headers @{"Content-type"="application/json"}
 - Method Post
 - Body '{"refreshToken":"<リフレッシュトークン※2>}'

<パイプライン：応答結果の項目から[Content]を全表示>
| Select-Object -ExpandProperty Content

※2: 認証/トークン取得で取得したrefreshToken (文字列)

[応答結果]

- ■ idToken : API発行時に使用するトークン
- ■ expiresIn : トークンの有効期間 (3600秒)

2-3. ダウンロード対象ファイルリストの表示 (FLEXデータ)

- (1) Windows PowerShell (HTTPリクエスト)

実行画面

投入コマンド >

```
> Invoke-WebRequest https://<サービスドメイン>/flex/list_date `
> -Headers @{"Authorization"="<IDトークン>";"Content-type"="application/json"} `
> -Method Post `
> -Body '{"getDate":"<取得したい日付>"}' `
> | Select-Object -ExpandProperty Content `
> | ConvertFrom-Json
```

(参考) 投入コマンド [推奨事項: 変数化] >

```
>> -Headers @{"Authorization"=$idToken;"Content-
```

応答結果 >

```
{"lists": [
{"no": 1, "path": "dataservice-flex-bucket/2021/03/13/", "size": "0", "lastModified":
"2021-03-15"},
{"no": 2, "path": "dataservice-flex-bucket/2021/03/13/20210313_1_001.pcap.gz",
"size": "502,863,560", "lastModified": "2021-03-15"},
. . .
{"no": 90, "path": "dataservice-flex-bucket/2021/03/13/20210313_2_068.pcap.gz",
"size": "360,163,085", "lastModified": "2021-03-15"},
{"no": 91, "path": "dataservice-flex-bucket/2021/03/13/20210313_2_090.pcap.gz",
"size": "139,592", "lastModified": "2021-03-15"}]}
```

操作内容

[投入コマンド]

- Invoke-WebRequest https://<サービスドメイン>/flex/list_date
<パラメータ>
 - Headers @{
 - "Authorization"="<IDトークン※3>"
 - ;"Content-type"="application/json"}
 - Method Post
 - Body '{"getDate":"<取得したい日付※4>"}'

<パイプライン1: 応答結果の項目から[Content]を全表示>
| Select-Object -ExpandProperty Content

※3: 認証/トークン取得で取得したidToken (文字列)

※4: 形式: YYYYYMMDD

[応答結果]

- 指定した日付における取得対象表示
 - no: 通番
 - path: ファイルパス
 - size: ファイルサイズ
 - lastModified: 最終変更日

2-4. ダウンロードURLの発行 (FLEXデータ)

● (1) Windows PowerShell (HTTPリクエスト)

実行画面

投入コマンド >

```
> Invoke-WebRequest https://<サービスドメイン>/flex/download `
> -Headers @{"Authorization"="<IDトークン>";"Content-type"="application/json"} `
> -Method Post `
> -Body '{"fileName":"<ダウンロードファイル※4>","getDate":"<取得したい日付※5>"}'
> | Select-Object -ExpandProperty Content
```

応答結果 >

```
["path":
"dataservice-flex-bucket/2021/03/13/20210313_1_001.pcap.gz",
"url":
"https://dataservice-flex-
bucket.s3.amazonaws.com/2021/03/13/20210313_1_001.pcap.gz
. . .
0cc1b78629867066e48f24f18138aa88eb8901b92209ff2fa1e98d9c118b8ec6"]
```

(参考) 投入コマンド : ダウンロード >

```
> Invoke-WebRequest -ContentType "multipart/form-data" `
>> -Method GET `
>> -Uri "<署名付きURL>" `
>> -OutFile "<ダウンロードファイル名>"
```

操作内容

[投入コマンド]

```
> Invoke-WebRequest https://<サービスドメイン>/flex/download
<パラメータ>
-Headers @{
  "Authorization"="<IDトークン※3>"
  ;"Content-type"="application/json"}
-Method Post
-Body '{
  "fileName":"<ダウンロードファイル※4>"
  ,"getDate":"<取得したい日付※5>"}'
```

<パイプライン : 応答結果の項目から[Content]を全表示>
| Select-Object -ExpandProperty Content

※3:認証/トークン取得で取得したidToken (文字列)

※4:YYYYMMDD_X_NNN.pcap.gz

YYYYMMDD: PCAPファイルを作成したシステム日付(西暦)

X: FLEX系統番号 (1または2)

NNN:マルチキャストグループ番号

※5:形式:YYYYMMDD

[応答結果]

```
> path : ダウンロードファイルパス (バケット/フォルダ/ファイル名)
> url : 署名付きURL (ダウンロード専用)
      ・ブラウザからURLに接続することでファイルをダウンロード
      ・コマンドからのファイルダウンロードも可能 (以下の参考を参照)
```

[(参考) 投入コマンド : ダウンロード]

```
> Invoke-WebRequest -ContentType "multipart/form-data"
<パラメータ>
-Method GET
-Uri "<署名付きURL>"
  →応答結果のurlの内容
-OutFile "<ダウンロードファイル名>"
  →ダウンロードファイルを端末に保存する際のファイル名指定
  (ダウンロードファイルと別名指定も可能)
```

2-5. ダウンロード対象ファイルリストの表示 (FLEX仕様書)

- (1) Windows PowerShell (HTTPリクエスト)

実行画面

投入コマンド >

```
> Invoke-WebRequest https://<サービスドメイン>/flex/list_connection_spec `
> -Headers @{"Authorization"="<IDトークン>";"Content-type"="application/json"} `
> -Method Post `
> -Body '{} `
> | Select-Object -ExpandProperty Content
```

(参考) 投入コマンド [推奨事項: 変数化] >

```
>> -Headers @{"Authorization"=$idToken;"Content-
```

応答結果 >

```
{"lists": [
{"no": 1, "fileName": "UpdateHistory_SpecificationDocuments.pdf", "size": "3,163,154",
"version": "change history", "lastModified": "2021-11-11"},
{"no": 2, "fileName": "FULL_E_20210726.zip", "size": "3,075,881", "version": "version
17.5", "language": "English", "lastModified": "2021-11-09"},
{"no": 3, "fileName": "Standard_E_20210726.zip", "size": "3,369,059", "version":
"version 17.5", "language": "English", "lastModified": "2021-11-09"},
{"no": 4, "fileName": "FULL_J_20210726.zip", "size": "3,286,391", "version": "version
17.5", "language": "Japanese", "lastModified": "2021-11-09"},
{"no": 5, "fileName": "Standard_J_20210726.zip", "size": "4,476,708", "version": "version
17.5", "language": "Japanese", "lastModified": "2021-11-09"}
]}
```

操作内容

[投入コマンド]

- Invoke-WebRequest https://<サービスドメイン>/flex/list_connection_spec
<パラメータ>
-Headers @{
"Authorization"="<IDトークン※3>"
;"Content-type"="application/json"}
-Method Post
-Body '{}'

<パイプライン1: 応答結果の項目から[Content]を全表示>
| Select-Object -ExpandProperty Content

※3: 認証/トークン取得で取得したidToken (文字列)

[応答結果]

- 指定した日付における取得対象表示
no: 通番
fileName: ファイル名
size: ファイルサイズ
version: バージョン
language: 言語 (日本語または英語)
lastModified: 最終変更日

2-6. ダウンロードURLの発行（FLEX仕様書）

● (1) Windows PowerShell（HTTPリクエスト）

実行画面

投入コマンド >

```
> Invoke-WebRequest https://<サービスドメイン>/flex/download_connection_spec `
> -Headers @{"Authorization"="<IDトークン>";"Content-type"="application/json"} `
> -Method Post `
> -Body '{"fileName":"<ダウンロードファイル>","version":"<バージョン>","language":"<言語>"}' `
> | Select-Object -ExpandProperty Content
```

応答結果 >

```
{"path": "dataservice-flex-bucket/ConnectionSpec/version
17.4/Japanese/Full_J_20210517.zip",
"url": "https://dataservice-flex-bucket.s3.amazonaws.com/ConnectionSpec/
. . .
0a6f172196097b21b756c460e016b1be9af3710342b716cb17763519cb6cc4fb"}
```

(参考) 投入コマンド：ダウンロード >

```
> Invoke-WebRequest -ContentType "multipart/form-data" `
>> -Method GET `
>> -Uri "<署名付きURL>" `
>> -OutFile "<ダウンロードファイル名>"
```

操作内容

[投入コマンド]

```
> Invoke-WebRequest https://<サービスドメイン>/flex
/download_connection_spec
<パラメータ>
-headers @{
  "Authorization"="<IDトークン※3>"
  ;"Content-type"="application/json"}
-Method Post
-Body '{
  "fileName":"<ダウンロードファイル※4>"
  ,"version":"<バージョン※5>"
  ,"language":"<言語※6>"}'
```

<パイプライン：応答結果の項目から[Content]を全表示>
| Select-Object -ExpandProperty Content

※3:認証/トークン取得で取得したidToken（文字列）

※4:YYYYMMDD_X_NNN.pcap.gz

YYYYMMDD: PCAPファイルを作成したシステム日付(西暦)

X: FLEX系統番号(1または2)

NNN:マルチキャストグループ番号

※5:取得対象ファイルのバージョン

※6:取得対象ファイルの言語（日本語または英語）

[応答結果]

```
> path : ダウンロードファイルパス（バケット/フォルダ/ファイル名）
> url : 署名付きURL（ダウンロード専用）
  ・ブラウザからURLに接続することでファイルをダウンロード
  ・コマンドからのファイルダウンロードも可能
```

3. cURLを用いたデータ取得方法



3. cURLを用いたデータ取得方法

■ 操作マニュアルの流れ

➤ 本節ではcURLを用いた具体的な操作手順を記載します。マニュアルの大まかな流れは以下のとおりです。

節	操作手順	操作目的
3-1.	認証／トークン取得	環境通知書に記載されたユーザID/パスワードを用いてAPI接続に利用する認証トークンを取得します。
3-2.	トークン再取得	トークンが有効期限切れとなった際にトークンを再取得します。
3-3.	ダウンロード対象ファイルリストの表示 (FLEXデータ)	FLEXデータについてダウンロード対象ファイルのリストを確認します。
3-4.	ダウンロードURLの発行 (FLEXデータ)	FLEXデータについて各種データをバケットからダウンロードします。
3-5.	ダウンロード対象ファイルリストの表示 (FLEX仕様書)	FLEX仕様書についてダウンロード対象ファイルのリストを確認します。
3-6.	ダウンロードURLの発行 (FLEX仕様書)	FLEX仕様書について各種データをバケットからダウンロードします。

- (1) cURL (HTTPリクエスト)

実行画面

投入コマンド >

```
> $ curl https://<サービスドメイン>/user_admin/auth/login ¥
> -H "Content-type: application/json" ¥
> -X POST ¥
> -d '{"userName":"<ユーザID>","password":"<パスワード>"}'
```

応答結果 >

```
{"idToken":
"eyJraWQiOiJYNFVidWNRR2NpUEQ2K21NQ3BqaGhuSDdaXC9mbkhpZHN
...
DRq7okmoco0MdMwifuvBp235G886-9-07IBA3imHH7zzSACVBsA",
"refreshToken":
"eyJjdHkiOiJKV1QiLCJlbmMiOiJBMjU2R0NNIiwiaWF0IjoiUINBLU9BRV
...
GGumXKwt0QIHpyDavmih5wg_sp3UA.0U69OlaVSTCfWvRjxJj-nA",
"expiresIn" 3600}
```




操作内容

[投入コマンド]

```
➤ curl https://<サービスドメイン※1>/user_admin/auth/login
<パラメータ>
-H "Content-type: application/json"
-X POST
-d '{
  "userName":"<ユーザID※1>"
  ,"password":"<パスワード※1>"}'
```

※1: J P X 総研よりお渡します「環境通知書」の設定値をご確認ください。

[応答結果]

-  idToken : API発行時に使用するトークン
-  refreshToken : トークン再取得APIで使用するリフレッシュトークン
-  expiresIn : トークンの有効期間 (3600秒)

[推奨事項: 変数化]

取得した [idToken],[refreshToken] の文字列を変数に設定することで
後続のAPI発行時に利便性が向上

```
$Token=""
eyJraWQiOiJYNFVidWNRR2NpUEQ2K21NQ3BqaGhuSDdaXC9
...
7 ok moco0MdMwifuvBp235G88-6-07IBA3imHH7zzACVBsA"
```

3-2. トークン再取得

- (1) cURL (HTTPリクエスト)

実行画面

投入コマンド >

```
> $ curl https://<サービスドメイン>/user_admin/auth/refresh ¥  
> -H "Content-type: application/json" ¥  
> -X POST ¥  
> -d '{"refreshToken":"<リフレッシュトークン※2>"}'
```

応答結果 >

```
["idToken":  
"eyJraWQiOiJYNFVidWNRR2NpUEQ2K21NQ3BqaGhuSDdaXC9mbkhpZHNHcXJ2Y1Vx  
...  
RFXJS6zbF6eDdgesc69UeyvJpdsDT8HTL7XNzwIRivMWI7xVMkG82r2s7WMEPEqw",  
"expiresIn": 3600}
```

操作内容

[投入コマンド]

- curl https://<サービスドメイン>/user_admin/auth/refresh
<パラメータ>
 - H "Content-type: application/json"
 - X POST
 - d '{"refreshToken":"<リフレッシュトークン※2>"}'

※2: 認証/トークン取得で取得したrefreshToken (文字列)

[応答結果]

- ■ idToken : API発行時に使用するトークン
- ■ expiresIn : トークンの有効期間 (3600秒)

3-3. ダウンロード対象ファイルリストの表示 (FLEXデータ)

- (1) cURL (HTTPリクエスト)

実行画面

投入コマンド >

```
> $ curl https://<サービスドメイン>/flex/list_date
> -H "Content-type: application/json"
> -H "Authorization: <IDトークン>"
> -X POST
> -d '{"getDate": "<取得したい日付>"}
```

```
(参考) 投入コマンド [推奨事項: 変数化] >
>> -H "Authorization: $idToken"
```

応答結果 >

```
{"lists": [
{"no": 1, "path": "dataservice-flex-bucket/2021/03/13/", "size": "0", "lastModified":
"2021-03-15"},
{"no": 2, "path": "dataservice-flex-bucket/2021/03/13/20210313_1_001.pcap.gz",
"size": "502,863,560", "lastModified": "2021-03-15"},
. . .
{"no": 90, "path": "dataservice-flex-bucket/2021/03/13/20210313_2_068.pcap.gz",
"size": "360,163,085", "lastModified": "2021-03-15"},
{"no": 91, "path": "dataservice-flex-bucket/2021/03/13/20210313_2_090.pcap.gz",
"size": "139,592", "lastModified": "2021-03-15"}]}
```

操作内容

[投入コマンド]

- curl https://<サービスドメイン>/flex/list_date
<パラメータ>
 - H "Content-type: application/json"
 - H "Authorization: <IDトークン※3>"
 - X POST
 - d '{"getDate": "<取得したい日付※4>"}

※3: 認証/トークン取得で取得したidToken (文字列)
※4: 形式: YYYMMDD

[応答結果]

- 指定した日付における取得対象表示
 - no: 通番
 - path: ファイルパス
 - size: ファイルサイズ
 - lastModified: 最終変更日

[推奨事項: json整形]

- json形式のため、上記の投入コマンドにパイプラインで表示整形を追加することで可読性が向上
<pythonによる表示整形の例>
 - | python -m json.tool

3-4. ダウンロードURLの発行 (FLEXデータ)

- (1) cURL (HTTPリクエスト)

実行画面

投入コマンド >

```
> $ curl https://<サービスドメイン>/flex/download
> -H "Content-type: application/json"
> -H "Authorization: <IDトークン>"
> -X POST
> -d '{"fileName":"<ダウンロードファイル>","getDate":"<取得したい日付>"}
```

応答結果 >

```
{"path":
"dataservice-flex-bucket/2021/03/13/20210313_1_001.pcap.gz",
"url":
"https://dataservice-flex-
bucket.s3.amazonaws.com/2021/03/13/20210313_1_001.pcap.gz
. . .
0cc1b78629867066e48f24f18138aa88eb8901b92209ff2fa1e98d9c118b8ec6"}
```

(参考) 投入コマンド : ダウンロード >

```
$ curl -X GET "[署名付きURL]" > [ダウンロードファイル名]
```

操作内容

[投入コマンド]

- curl https://<サービスドメイン>/flex/download
<パラメータ>
 - H "Content-type: application/json"
 - H "Authorization: <IDトークン※3>"
 - X POST
 - d '{
"fileName":"<ダウンロードファイル>"
, "getDate":"<取得したい日付※4>"}'

※3: 認証/トークン取得で取得したidToken (文字列)

※4: 形式: YYYYMMDD

[応答結果]

- path : ダウンロードファイルパス (バケット/フォルダ/ファイル名)
- url : 署名付きURL (ダウンロード専用)
 - ・ブラウザからURLに接続することでファイルをダウンロード
 - ・コマンドからのファイルダウンロードも可能 (左記参考を参照)

3-5. ダウンロード対象ファイルリストの表示 (FLEX仕様書)

- (1) cURL (HTTPリクエスト)

実行画面

投入コマンド >

```
> $ curl https://<サービスドメイン>/flex/list_connection_spec
> -H "Content-type: application/json"
> -H "Authorization: <IDトークン※3>"
> -X POST
> -d '{}'
```

(参考) 投入コマンド [推奨事項: 変数化] >
>> -H "Authorization: \$idToken"

応答結果 >

```
{
  "lists": [
    {
      "no": 1,
      "fileName": "UpdateHistory_SpecificationDocuments.pdf",
      "size": "3,163,154",
      "version": "change history",
      "lastModified": "2021-11-11"
    },
    {
      "no": 2,
      "fileName": "FULL_E_20210726.zip",
      "size": "3,075,881",
      "version": "version 17.5",
      "language": "English",
      "lastModified": "2021-11-09"
    },
    {
      "no": 3,
      "fileName": "Standard_E_20210726.zip",
      "size": "3,369,059",
      "version": "version 17.5",
      "language": "English",
      "lastModified": "2021-11-09"
    },
    {
      "no": 4,
      "fileName": "FULL_J_20210726.zip",
      "size": "3,286,391",
      "version": "version 17.5",
      "language": "Japanese",
      "lastModified": "2021-11-09"
    },
    {
      "no": 5,
      "fileName": "Standard_J_20210726.zip",
      "size": "4,476,708",
      "version": "version 17.5",
      "language": "Japanese",
      "lastModified": "2021-11-09"
    }
  ]
}
```

操作内容

[投入コマンド]

- curl https://<サービスドメイン>/flex/list_connection_spec <パラメータ>
 - H "Content-type: application/json"
 - H "Authorization: <IDトークン※3>"
 - X POST
 - d '{}'

※3: 認証/トークン取得で取得したidToken (文字列)

[応答結果]

- 指定した日付における取得対象表示
 - no: 通番
 - fileName: ファイル名
 - size: ファイルサイズ
 - version: バージョン
 - language: 言語 (日本語または英語)
 - lastModified: 最終変更日

[推奨事項: json整形]

- json形式のため、上記の投入コマンドにパイプラインで表示整形を追加することで可読性が向上
<pythonによる表示整形の例>
 - | python -m json.tool

3-6. ダウンロードURLの発行 (FLEX仕様書)

● (1) cURL (HTTPリクエスト)

実行画面

投入コマンド >

```
> $ curl https://<サービスドメイン>/flex/download_connection_spec
> -H "Content-type: application/json"
> -H "Authorization: <IDトークン※3>"
> -X POST
> -d '{"fileName":"<ダウンロードファイル>","version":"<バージョン>","language":"<言語>"}
```

応答結果 >

```
{ "path":
  "dataservice-flex-bucket/2021/03/13/20210313_1_001.pcap.gz",
  "url":
    "https://dataservice-flex-
    bucket.s3.amazonaws.com/2021/03/13/20210313_1_001.pcap.gz
    . . .
    0cc1b78629867066e48f24f18138aa88eb8901b92209ff2fa1e98d9c118b8ec6"}
```

(参考) 投入コマンド : ダウンロード >

```
$ curl -X GET "[署名付きURL]" > [ダウンロードファイル名]
```

操作内容

[投入コマンド]

- curl https://<サービスドメイン>/flex/download_connection_spec <パラメータ>
 - H "Content-type: application/json"
 - H "Authorization: <IDトークン※3>"
 - X POST
 - d '{
 "fileName":"<ダウンロードファイル>"
 ,"version":"<バージョン※5>"
 ,"language":"<言語※6>"}'

※3: 認証/トークン取得で取得したidToken (文字列)

※5: 取得対象ファイルのバージョン

※6: 取得対象ファイルの言語 (日本語または英語)

[応答結果]

- path : ダウンロードファイルパス (バケット/フォルダ/ファイル名)
- url : 署名付きURL (ダウンロード専用)
 - ・ブラウザからURLに接続することでファイルをダウンロード
 - ・コマンドからのファイルダウンロードも可能